

館報 教育記念館

No.84

平成27年3月 発行



第11回
子どもの目。
自然不思議発見写真展

第25回
富山県中学校美術展



主な内容

- ◎教育時評 「立山黒部ジオパーク 大自然の中で水循環を学ぶ公園」
国立大学法人富山大学 大学院理工学部 教授 竹内 章 2
- ◎後期恒例展から 4
「みんながんばってます作品展」「富山県造形教育作品展」
「教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」「富山県中学校美術展」
「アイディア ロボット・フェスタ」「版造形教育展 秀作回顧展」
- ◎わが校の歴史から 6
★富山市立新庄北小学校
★高岡市立伏木小学校
- ◎「学ぼう！ふるさと未来」支援事業実践活動報告会 8
平成27年度の展示計画 あとがき



発行所／公益財団法人 富山県ひとづくり財団 富山県教育記念館 〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1
TEL(076) 444-2000 FAX(076) 444-2001 E-mail:toyama@t-hito.or.jp http://www.t-hito.or.jp
(教育記念館会議室ご利用の場合 ☎(076) 433-2770)

発行人／富山県教育記念館 館長 伏黒 昇

印刷所／いおざき印刷株式会社



立山黒部ジオパーク 大自然の中で水循環を学ぶ公園

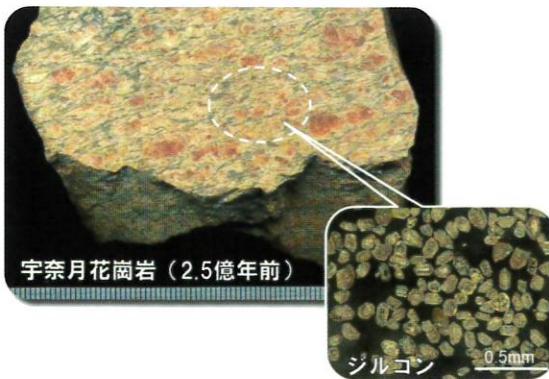
国立大学法人富山大学 大学院理工学研究部
教授 竹内 章

2014年9月27日、長野県伊那市において日本ジオパークネットワーク加盟認定書授与式があり、それに先立ち日本ジオパーク委員会から3点の認定理由が伝えられました。(1)まずは、富山県東部固有の観光資源として、北アルプスから富山湾に至る山・雪・川・扇状地・海を結ぶ壮大な水循環を学ぶことができる点、(2)加えて、氷河、ライチョウ、高山植物、立山信仰、砂防・治水、電源開発の歴史、湧水群など特徴ある人々の暮らしの関係が息づいている点と、(3)運営体制が日本初の民間主導型であり、日本のジオパークで新たな運営モデルになる点が評価されました。

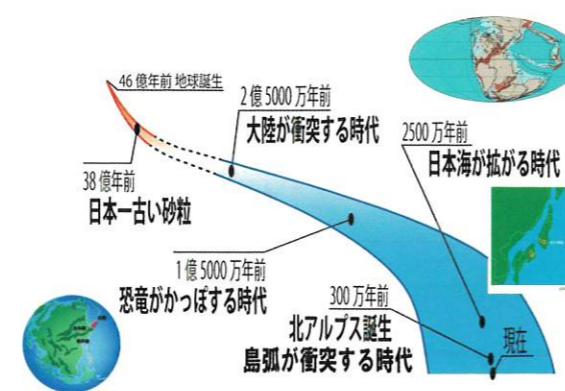
呉羽山丘陵以東の富山県東部9市町村からなる立山黒部ジオパークは、南と東を飛騨山脈立山連峰および後立山連峰、北を日本海富山湾で囲まれ、神通海脚、黒部川扇状地、親不知海脚などの海底地形を含みます。この範囲が大自然のまとまりであり、立山黒部圏とよびます。例えば、神通川以東の水質は同じ立山黒部系統で以西の庄川系統とは異なります。また、自然界の水文地文だけでなく人文社会的にも明治16(1883)年の富山県置県以前の石川県新川郡に相当し、人びとは一つの生活文化圏をつくりだしています。

「立山黒部」の名称は、黒部川と常願寺川のコントラストであり、立山連峰・後立山連峰の森林相を象徴する立山杉と黒檜（クロベ）も表しています。「圏」は、日本海から本州に運び込まれた水蒸気が多量の降水に変わる飛騨山脈の古称立山と、山脈南端の三俣蓮華岳付近を源流とし黒部峡谷を経て日本海に張り出した扇状地をつくる黒部川、これらを結ぶ壮大な水の循環に因んでいます。

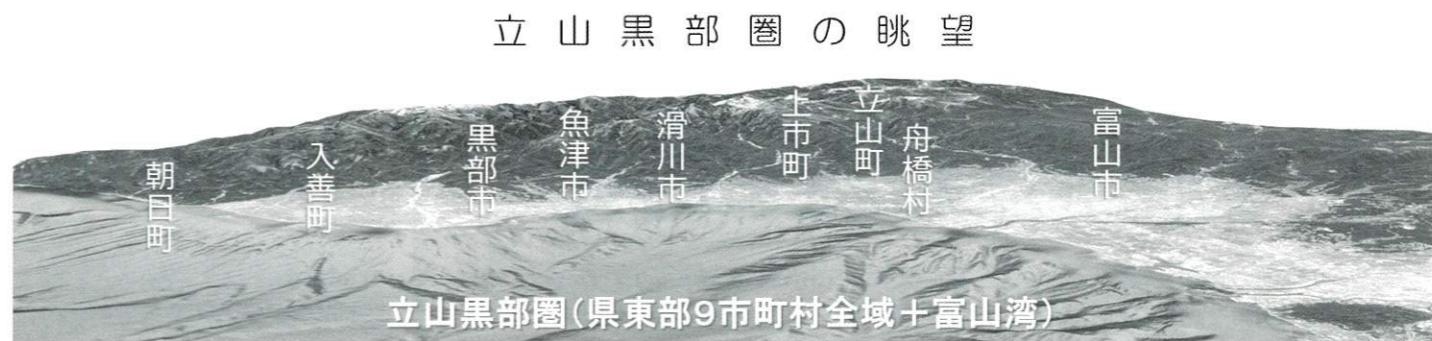
黒部川と常願寺川はともに、世界屈指の降水積雪量の立山連峰に源を発し、下流に扇状地を有します。その水は農業を支え電力を生み、人々の生活を潤しています。反面、山岳地帯の崩壊地から押し出す土砂は、霞堤に象徴されるような水防の闘いを人々に強いてきました。そもそも富山県置県のきっかけは治水砂防事業の財源確保であり、その根本は安政5年飛越地震の鳶崩れが原因です。この地震は、1858(嘉永7)年11月に起きた南海トラフの海溝型巨大地震に誘発された内陸活断層地震です。飛越地震の被災地・新川郡は、石川県から分県する過程で復興を果たしてきた経緯があります。富山市中心市街地のいたち川沿いに並ぶ水神社や地蔵尊は、官民（藩民）一体で震災から復興に成功した象徴もあり、防災教育の重



石の記憶、38億年前の砂粒



立山黒部圏の生い立ち



面積：陸域2,769km²+海域1,135 km² 人口63万6千人

重要なコンテンツなのです。

日本列島の大部分は、太平洋側にある海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むときに、海洋地殻の上にたまつた堆積物が剥ぎ取られて次々に重なってできた付加体という地質です。しかし北陸は、大陸の断片から成り立つ独特な存在です。とりわけ立山黒部圏は、3000m級の急峻な立山連峰と水深1000mを超える富山湾に囲まれた臨海扇状地という独特的な地形を舞台に、人々が生活を営む土地柄です。海と山が凝集する立山黒部圏は、3億年前に起きた大陸衝突の痕跡や、1億年前の火成活動に逃げ惑う恐竜の足跡など、さながら地球の百科事典です。ここではさらに、大自然の恵みと幸、氷河、ライチョウ、高山植物、立山信仰、砂防・治水、電源開発の歴史、湧水群など特徴ある人々の暮らしの関係が息づいています。

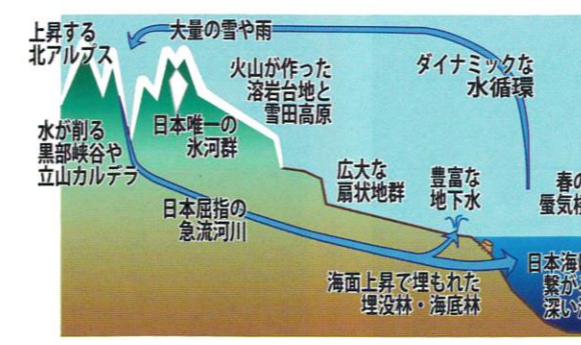
「富山を歩けば地球がわかる」「富山の自然は宝物、世代を超えて受け継いでいく」「つなぎ、育む、ふるさと富山のジオパーク」を合言葉に、民産官学が深く連携して「伝え・守り・活かす」これが「地球の公園」立山黒部ジオパークのコンセプトです。とりわけ圏内各地区で取り組まれてきた様々なガイド活動を通して、地域間・世代間をつなぐ取組

みが急務です。そのため平成27年3月4日付けで一般社団法人立山黒部ジオパーク協会（設立、推進協議会から移行）が設立されました。

ジオパーク事業の主柱は教育・学習、ジオツーリズム、保護・保全の循環にあり、当協会ではとくに教育や調査・研究に重点を置いています。

富山県内では、福井県恐竜博物館のような大規模展示施設はありませんが、多様な特色をもった中小規模の展示施設が各所に散在し、12のジオエリアのジオツアーの拠点になっています。これからは、展示施設どうし、ジオサイトどうしを結びつけていくことが重要です。

さらに重要なのは、訪れる人にジオサイトの「存在や良さを知らせる」ことです。民産官学を問わず、立山黒部ジオパーク圏内の展示施設や観光関連施設がお互いのことを「紹介して知らせる」しくみづくり、見どころとなるジオサイト以外の観光関連施設との連携が大切です。これらの課題を着実に実践し実績を積み上げることが、4年後の再審査を見事クリアし、世界ジオパークへの推薦を受けることにつながると考えています。



高低差4,000mの水循環



黒部峡谷に下る小窓氷河

後期恒例展

第32回 特別支援学校 みんながんばってます作品展

県内の特別支援学校に通う皆さんの作品319点が一堂に会しました。日々の学習を通して制作された作品を一般の方とともに鑑賞し合いました。



第45回 富山県造形教育作品展

幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校64校から、それぞれの年代の素晴らしい作品が集まりました。



第25回 富山県中学校美術展

県内の中学校から選ばれた208作品を展示しました。豊かな感性にあふれた秀作が集まりました。



第30回 教職員厚生会退職厚生部 富山支部会員作品展

書画・写真・彫刻・盆栽など130点の力作を展示。初日には、30周年を記念して式典も行われました。



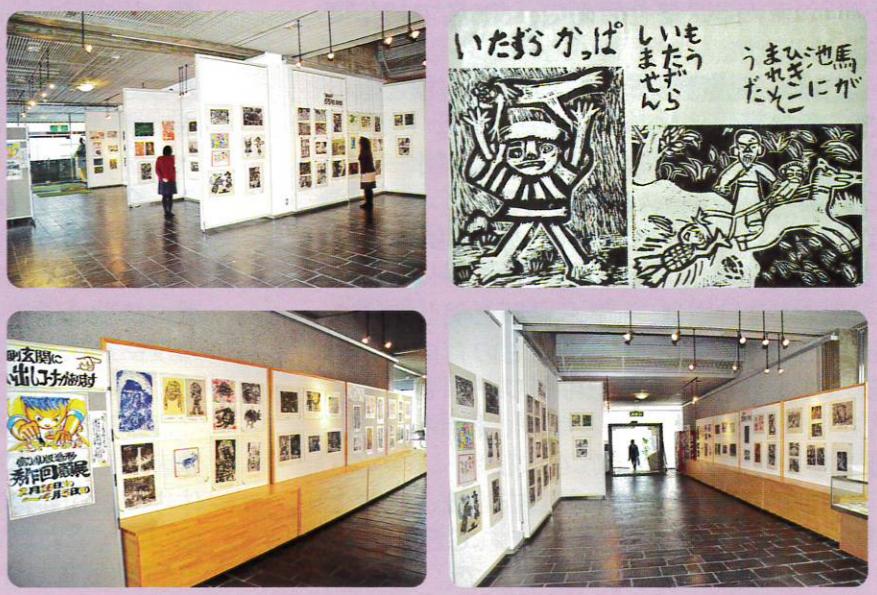
第10回 アイディアロボットフェスタ

チャレンジデーでは、参加者は川口淳一郎先生の講演や、各校のデモンストレーションに夢中になりました。



版造形教育作品 秀作回顧展

昭和51年から昭和56年までの秀作版画123点を展示しています。





新たな学校の文化を育む —夢笑美—

富山市立新庄北小学校



<校区の概要>

校区は富山駅より東におよそ5kmに位置し、東側は常願寺川に接し、南北約3.5km、東西約2kmに広がっている。校区の中央に国道41号線が、北側には国道8号線が走っており、その沿線には販売店や会社などが建ち並んでいる。また、工業施設や住宅団地もあり、校区内でも各町内によって様々な生活環境の姿を見せている。

校区は5周年を迎える、誕生、飛躍、絆、絆Ⅱ、輝と毎年のテーマを掲げて、新しい地域文化の創造に、活気ある活動や事業を展開している。

また、新庄北小学校を文化活動の拠点として、保育園、幼稚園、新庄中学校、富山第一高等学校が一緒に参加する行事なども展開している。

<学校の概要>

本校は、新庄小学校の過大規模を解消するために分離新設され、平成20年11月に起工、平成22年4月1日に開校した。1,100名以上いた児童が新庄小学校と本校に分かれ、針原小学校の一部児童を加えて、606名で初年度を歩み出した。

現在は、児童数625名、21学級の規模となっている。

明るく開放的な校舎は、全教室がオープンで、ワークスペースや多目的教室、小ホールなども備え、地区センターと公民館が併設されている。

学校教育目標は、「学ぶ喜びと美しい心をもちしなやかに生きる子どもの育成」である。「夢」「笑」「美」をキーワードとして、人を思う心と感謝の心の育成に重点を置き、様々な教育活動を展開している。

本年度で開校5年目の節目を迎え、活気と共に落ち着きのある校風が生まれてきている。

長年の伝統がないということで、「今の私

たちから学校の新たな歴史が始まる」という、新設校ならではの喜びと誇りをもっている。

子どもたちには、創造的な活動が学校の歴史と文化につながることを意識させている。児童会においても「大好き新庄北」をテーマに、学校に愛着と誇りを持てるように活動を重ねている。

<学校文化を育む教育活動>

1 出会いに学ぶ学習

専門家や地域の先生と出会い、多様な体験と知識を得る学習を教育課程に位置づけている。

本学習は、演奏家、マンガ家、作家、アナウンサー、インストラクターなどの専門家や、特技・趣味に打ち込む大人からの学びによって、子どもたちの感性を磨き、創造力を養うことを意図している。また、大人への信頼や尊敬、仕事への憧れにもつながる学習となっている。

2 ひびきあいコンサート

24年度から開催し、本年2月で8回を重ねる。主にプロの演奏家を招き、ピアノ、管楽器、弦楽器を組み合わせた演奏、ジャズの演奏、朗読と演奏のコラボなど、毎回演出を工夫している。子どもたちが参加し、プロと一緒に演奏する喜びを体感できるステージも設けている。

3 全校児童集会、全校音楽活動

校時表の毎週金曜日に全校集会活動を位置づけ、月に1回はコーラス集会としている。歌の練習は学年一緒におこない、毎朝各学年のワークスペースから美しい歌声が響いてくる。

縦割りファミリー活動、学年発表、委員会発表など内容も多彩で、協調性、創造性、主体性などが發揮される「学校の文化」として根づいてきた。



富山県で最初にできた 公立小学校

高岡市立伏木小学校



<校区の概要>

もののふの八十おとめらが汲みまがふ

寺井の上のかたかごの花(万葉集卷19-4143)

校区は、万葉歌人、大伴家持が今から1200年余り前に越中守として過ごした地であり二上山の麓に広がる万葉の故郷である。越中国（国司が政治をとるところ）があったとされる場所には現在は国の重要文化財勝興寺があり、歴史と文化に恵まれた環境にある。

また、明治時代には、地域の有力な船問屋であり篤志家でもあった藤井能三の尽力により、伏木港が北陸で初めて汽船が入港できる港として整備され、近代的な港を抱える町として発展した。

こうした歴史と伝統から、校区の人々は一様に自らの地域に誇りを持ち、また、地域で育つ子供達に対しても熱い情熱を注ぐ方が多い。

<学校の概要>

伏木小学校は、本県最初の公立小学校として明治6年2月16日に開校した。学制が発布（明治5年）されてわずか半年後のことである。明治23年には「校訓」「校歌」「校章」が制定された。

平成27年2月16日には創立142周年を祝う創校記念式を開催し、祝芸として、昭和35年より続く児童による能「高砂」の上演を行った。

学校創立にあたっても、前述した藤井能三の功績は大きく、開校当時から「藤井さんの学校」と呼ばれていたと古い記録にある。現在でも能三の命日にあたる4月20日には、全校児童による「能三祭」を開催し、能三像に献花した後、「運動場に能三さん」の歌を合唱している。また、古くから続く伝統的な行事が多く、8月には、大正時代から続く「日の出会」や全国的にも珍しい海での遠泳大会が行われる他、創作舞踊「かたかごの花」など上級生から下級生に連綿と受け継がれてい

る活動もある。遠泳大会は戦前から続く行事で、以前は臨海学校の最終日にまとめとして行われていた。国分浜から男岩を回って戻ってくる約2.5kmの遠泳は、高学年児童にとって一種の通過儀礼となっている。

こうした歴史は、創立百周年を記念して発刊された「伏木小学校史」（全297頁）に詳しくまとめられている他、本県の代表的な学校沿革史と評されている「伏木小学校沿革史第一巻」（明治34年編纂）が現在に伝えられていることなどから、往時の様子を垣間見ることができる。

<地域と共に歩む伏木の教育>

本校の教育活動は、教育熱心な地域に支えられている部分が大きい。環境面では、育友会（PTA）の他、同窓会、育友会役員OBが組織する潮音会などから直接、間接の支援を受けており、民舞「帆柱起こし祝唄」、能「高砂」の練習や「ものづくり・デザイン科」の学習など、地域と連携したり指導を受けたりする教育活動も多い。

近年は俳句づくりに力を入れており、日常のちょっとした心の動きをありのままに詠むことで、豊かな感性が育まれつつある。全国的な俳句コンクールに入賞する児童を毎年多く輩出するとともに、学校賞を受賞することも増えてきた。校舎内に掲示してある全校児童の季節ごとの俳句には、子供らしい瑞々しい感性が溢れている。

校舎北棟1階の4教室を利用した「ふるさと博物館」や校庭の一角にあり大きな藤井能三像が建つ「能三公園」など、長い歴史をもつ本校ならではの環境を生かした教育活動も盛んであるが、単に歴史や伝統を踏襲するだけでなく、能三が理想とした「新しい時代を切り拓く人材の育成」に向けて、地域と共にさらに充実した教育活動の展開に努めていきたい。

「学ぼう！ふるさと未来」支援事業 実践活動報告会

平成27年2月9日

滑川市立寺家小学校

主体的に地域の社会・自然・文化に関わり、地域を大切に思う子供の育成
—オリエンテーションと振り返りの学習を通して—



デーサービスでの活動

射水市立金山小学校

大すき、ぼくたち・私たちのふるさと金山
—豊かな自然や人とのかかわりを大切にして—



築場を見学

氷見市立久目小学校

学ぼう、地域と共に!われら久目っ子
—久目地域の自然や文化、人々に進んで関わり、共に学び、地域を愛する子供を育てる—



雪吊り体験

高岡市立牧野小学校

地域の一員としての役割を自覚し、主体的に働きかける子供の育成
—わたしたちにできる防災活動—



自分の家があるハザードマップ

砺波市立砺波南部小学校

砺波南部小学校区の歴史や文化等を調べたり、紹介したりする活動を通して、砺波南部小学校区に愛着をもつ子どもを育てる
—創校30周年を迎えて—



鹿島の夜高に上る

あ・と・が・き

84号ができあがりました。
ご多忙の中、館報の執筆に携わってくださった先生方、ありがとうございました。
また、館の活動に際し多くのご教示をいただきました方々に感謝申し上げます。



平成27年度の展示計画

- ◆「肖像画で見る郷土の先賢」
- ◆第6回「児童・生徒による ものづくり展」
- ◆第13回「さんすうワールド展」
- ◆第12回「子どもの目・自然不思議発見写真展」
- ◆第31回「教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」
- ◆第33回「特別支援学校・みんながんばってます作品展」
- ◆第46回「富山県造形教育作品展」
- ◆第11回「アイディア ロボット・フェスタ」ロボット展
- ◆第26回「富山県中学校美術展」
- ◆第9回「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」

- 4月10日(金)～5月24日(日)
- 6月12日(金)～7月12日(日)
- 7月25日(土)～8月23日(日)
- 9月4日(金)～10月4日(日)
- 10月16日(金)～10月25日(日)
- 10月30日(金)～11月15日(日)
- 11月21日(土)～12月6日(日)
- 12月12日(土)～1月17日(日)
- 1月29日(金)～2月14日(日)
- 2月26日(金)～3月27日(日)